

第 46 回レオロジー講座

- 様々なソフトマターのレオロジー -

主催：日本レオロジー学会

協賛：化学工学会，紙パルプ技術協会，高分子学会，色材協会，日本化学会，日本材料学会，
日本バイオレオロジー学会，日本油化学会（依頼中）

日時：令和 8 年（2026 年）12 月 7 日（月），9 日（水）

開催方法：オンライン開催（Zoom 利用）

主旨：各種のソフトマターのレオロジーに関して，各分野の基本的な概念をできるだけ平易な言葉で解説します。講義内容に関しては，Larson の著書“The structure and rheology of complex fluids”を参考にしますが，出版後 20 年経過しているため，適宜アップデートした内容とし，聴講者の日々のレオロジー研究において，データの利用，解析，解釈の向上に供することができる内容とすることを目指します。「レオロジー講座・基礎編」を聴講していることが望ましいですが，初学者でも参加できるように配慮した内容とします。

プログラム：

1 日目：12 月 7 日（月）

10:30~12:00

1. レオロジーの基礎（高分子を例にして）

大阪大学 松宮 由実

粘弾性緩和について概説し，その評価方法である動的粘弾性測定法について説明する。高分子をモデル系として，分子量，分子量分布，分岐，絡み合い効果，濃度などが，動的粘弾性データにどのように現れるか解説し，線型粘弾性の現象論と粘弾性データの見方を理解していただく。さらに，微視的な応力表式の導出と，それに基づく分子モデルについても紹介し，分子モデルの予想と課題について説明する。

12:00~13:20 昼休み

13:20~14:50

2. レオロジーの測定と解析方法

大阪大学名誉教授 井上 正志

レオロジーが対象とするのは，液体と固体の間の物質である。粘弾性，塑性，チクソトロピー性などレオロジー的に興味ある現象を例にして，ソフトマターのレオロジー測定の目的，具体的な測定方法，データ解析法について説明する。また，レオメーターの種類と原理についても触れる。

14:50~15:00 休憩

15:00~16:30

3. ゲルとゲル化のレオロジー

東京大学 片島 拓弥

ゴム弾性の基礎と実在の高分子網目系の弾性挙動について述べ，またゲル化のレオロジーについて説明する。接着剤や熱硬化性樹脂の理解にもつながる概念である。

※【参加者の皆様へ】受講時に，お手元に輪ゴムを 1 つご用意ください。

2 日目：12 月 9 日（水）

9:30~11:00

4. ガラス性液体のレオロジー

大阪大学 浦川 理

ガラス性液体を題材に，粘弾性の温度依存性に関する時間温度換算則や WLF 式，さらに自由体積について説明する。また，ガラス特有のエージングとその起源について説明する。高分子固体の理解にもつながる内容である。

11:00~11:10 休憩

11:10~12:40

5. サスペンションのレオロジー

神戸大学 菰田 悦之

剛体球分散系のレオロジーについて解説する。最も単純な相互作用力が無視できる単分散球形粒子分散系のレオロジー挙動から出発し，粒子体積分率と粘度増加の関係やブラウン運動の寄与について述べる。また，粒子径分布や粒子が形成する内部構造の影響についても説明する。

12:40~14:00 休憩

14:00~15:30

6 ブレンド系のレオロジー

京都大学 谷口 貴志

液体をブレンドした系のレオロジーを理解するうえで基礎となる界面張力について説明し、界面張力がレオロジーにどのように影響するかを説明する。合わせて、界面張力と応力の関係、また、いくつか提案されているブレンド系の粘度式を説明する。

15:30~15:40 休憩

15:40~16:50

7. 複雑流体のレオロジー

大阪電気通信大学 山本 剛宏

液晶、棒状高分子、紐状ミセル、会合性高分子などの複雑流体が示す豊かなレオロジー特性とその起源について説明する。

参加費(税込)：会員(協賛学協会の個人会員含む) 38,500 円、非会員 49,500 円、学生 11,000 円

7/9(木)開催の「第5回レオロジー講座・基礎編」参加者特典としまして、該当講座に参加された方は、上記参加費の半額でご参加頂けます。連続で受講できる絶好の機会ですので、奮ってご参加ください。

特典利用時の参加費(税込)：会員(協賛学協会の個人会員含む) 19,250 円、非会員 24,750 円、学生 5,500 円

参加申込&支払い締切期日：2026年11月20日(金)17時

期日までに参加者氏名でお振込みをお願いします。不可の場合は事前にお知らせください。11/20(金)までにご連絡が無く参加費の振込が確認できなかった場合、参加申込はキャンセルとなります。

定員：80名 ※定員に達し次第締切ります

申込方法&遵守事項：本学会ホームページの申込フォーム(Google版)からお申込み下さい。

- ① レオロジー学会の賛助会員である事業所よりお申し込みの場合は、参加者個人が非会員であっても会員価格でご参加いただけます。**※本学会の賛助会員は、本学会HPに掲載の「賛助会員リスト」(<https://www.srj.or.jp/20180606140048>)ページよりご確認ください。参加種別の選択間違いで後日のご返金はお受けできませんので、貴社が賛助会員であるかをご確認の上、参加種別をご選択ください。**
- ② 協賛学協会会員の事業所からのお申込であっても、参加者が協賛学協会の個人会員でない場合、非会員価格となります。
- ③ 11/30(月)にオンライン参加方法等の詳細なご案内を、参加申込時にご登録のメールアドレス宛にお送りします。お支払い締切日の11/20(金)以降に、お支払い確認ができた方へ書籍「新講座・レオロジー」を郵送いたします。ただし、締切日(11/20)までに参加費の振込が無い場合、または参加費の支払い日のご連絡が無い場合、**参加申込はキャンセルとなります。**
- ④ 講義資料は、本会HPの「参加者限定ページ」でダウンロードと閲覧が可能です。11/30(月)に詳細を参加申込時にご登録のメールアドレスへお送りします。
- ⑤ 本講座での録画および録音は固くお断りします。また、講義資料の2次利用も禁止です。講義資料の閲覧・ダウンロード方法やZoomミーティング情報等、参加者限定でお知らせする内容は、外部に流出しないようお取り扱いにご注意願います。
- ⑥ オンライン開催時、主催者は参加者側のネットワークトラブルには対応できません。12/4(金)16:30~17:20に接続テストを設けます。接続に不安のある方はこちらでお試してください。接続テスト詳細についても11/30(月)にご案内メールをお送りします。
- ⑦ 参加申込者の出席確認のため、Zoomミーティング参加時の名前表示は「参加者ご氏名_ご所属名」(和文表記)とし、参加者お一人につき1台のデバイスでご参加ください。遵守頂けない場合、退出措置を取らせて頂きます。
- ⑧ 都合により、講演順序や講師変更場合があります。

振込先：三井住友銀行 京都支店 普通 9100073

<名義> 一般社団法人 日本レオロジー学会 (イッパ^ニンシヤク^ニンホジ^ニン ニホノロジ^ニニカ^ニツカイ)

お申込 & お問合せ先 : 一般社団法人 日本レオロジー学会

E-mail: online@srj.or.jp

TEL: 075-315-8687

<https://www.srj.or.jp/>